

1-6 日常生活圏

1-6-1 通勤流動

本圏域では、各務原市への通勤者が52.7%を占め、次いで岐阜市13.7%、名古屋市7.5%となっています。

市町別にみると、各務原市では自市内で従業する者が56.3%を占め、次いで岐阜市14.1%、名古屋市7.6%となっています。これに対し、川島町では自町内で従業する者が40.5%であり、次いで一宮市10.8%、岐阜市8.8%、各務原市6.4%、名古屋市5.9%となっており、愛知県との結びつきが高くなっています。

表 構成市町の通勤流動(15歳以上)

通勤流動	(単位: 上段:人, 下段:%)														通勤者総計
	各務原市	川島町	岐阜市	関市	美濃加茂市	岐南町	笠松町	岐阜県内 その他	名古屋市	一宮市	犬山市	江南市	小牧市	他 その他	
各務原市	37,881 56.3%	187 0.3%	9,490 14.1%	1,372 2.0%	866 1.3%	1,127 1.7%	436 0.6%	3,442 5.1%	5,099 7.6%	751 1.1%	2,084 3.1%	695 1.0%	1,085 1.6%	2,823 4.2%	67,338 100.0%
川島町	333 6.4%	2,114 40.5%	461 8.8%	25 0.5%	16 0.3%	217 4.2%	156 3.0%	220 4.2%	308 5.9%	562 10.8%	55 1.1%	237 4.5%	85 1.6%	428 8.2%	5,217 100.0%
圏域計	38,214 52.7%	2,301 3.2%	9,951 13.7%	1,397 1.9%	882 1.2%	1,344 1.9%	592 0.8%	3,662 5.0%	5,407 7.5%	1,313 1.8%	2,139 2.9%	932 1.3%	1,170 1.6%	3,251 4.5%	72,555 100.0%

資料: 国勢調査(平成12年)

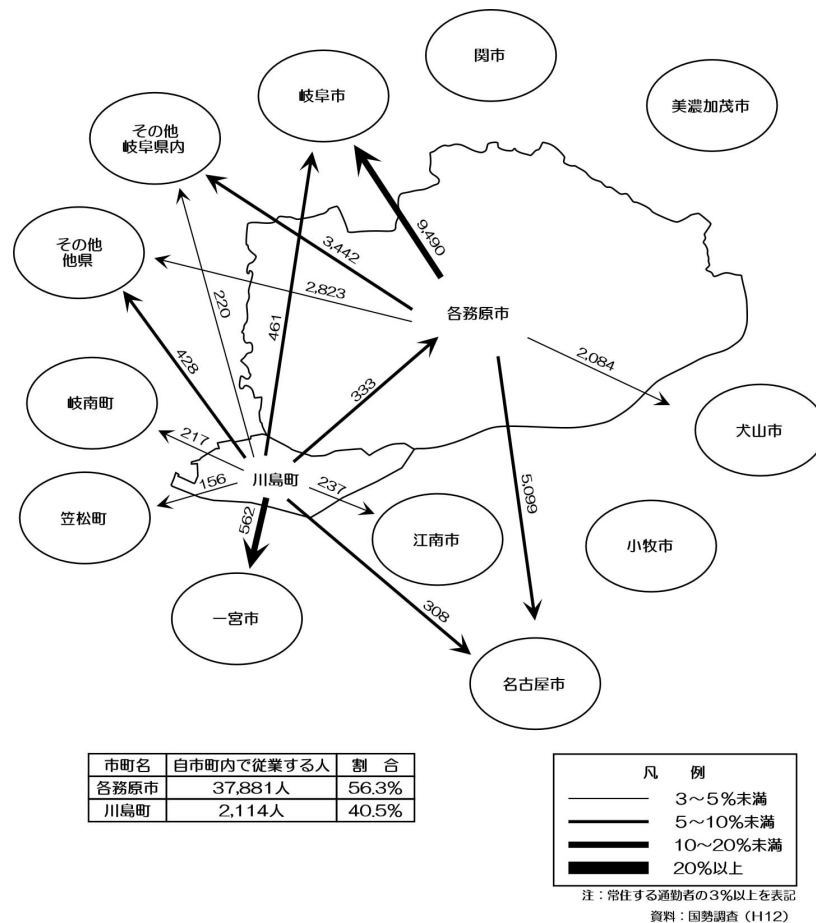


図 構成市町の通勤流動

1-6-2 通学流動

本圏域は岐阜学区（高等学校）に属しており、本圏域の通学者の通学先は、各務原市 39.8%、岐阜市 29.0%であり、合わせて 68.8%を占めています。また、名古屋市への通学者が 12.0%と高い数値を示しています。

市町別にみると、各務原市では自市内で通学する者が 41.4%を占め、次いで岐阜市 29.1%、名古屋市 12.0%となっているのに対し、川島町では、岐阜市 27.4%、各務原市 16.6%、川島町 12.7%、名古屋市 11.9%、笠松町 7.0%の順になっています。

表 構成市町の通学流動(15歳以上)

通学流動	(単位: 上段:人、下段:%)														
	各務原市	川島町	岐阜市	関市	美濃加茂市	岐南町	笠松町	岐阜の県内	名古屋市	一宮市	犬山市	江南市	小牧市	他その他	通学者総計
各務原市	3,203 41.4%	1 0.0%	2,253 29.1%	118 1.5%	41 0.5%	60 0.8%	161 2.1%	294 3.8%	929 12.0%	21 0.3%	64 0.8%	63 0.8%	16 0.2%	519 6.7%	7,743 100.0%
川島町	85 16.6%	65 12.7%	140 27.4%	3 0.6%	-	15 2.9%	36 7.0%	50 9.8%	61 11.9%	16 3.1%	1 0.2%	5 1.0%	-	35 6.8%	512 100.0%
圏域計	3,288 39.8%	66 0.8%	2,393 29.0%	121 1.5%	41 0.5%	75 0.9%	197 2.4%	344 4.2%	990 12.0%	37 0.4%	65 0.8%	68 0.8%	16 0.2%	554 6.7%	8,255 100.0%

資料: 国勢調査(平成12年)

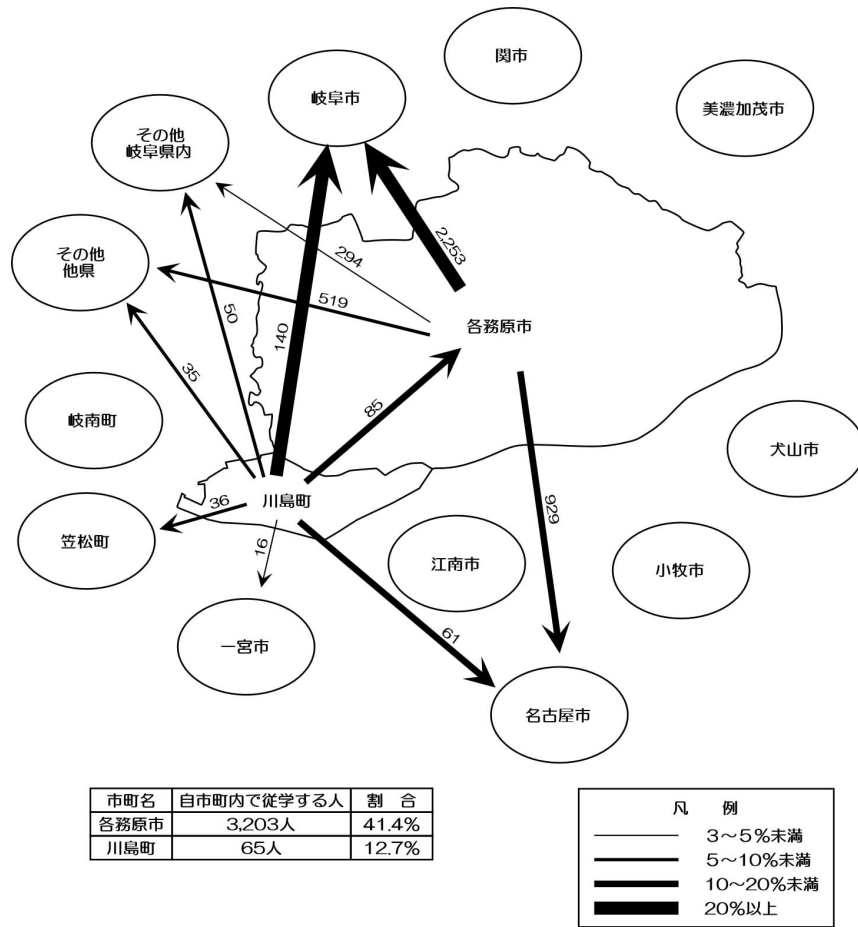


図 構成市町の通学流動